

PECS (Physics department Educational Committee of Students)

物理学教室 学生教育委員会

学生教育委員会公式Twitterアカウント：@PecsNagoya

PECS とは

物理学教室では月に一度、教員や事務の方々が集まり物理学での教育に関することの議論、決定を行う「物理学教室 教育委員会」という会議を開いています。その会議では、学生の中から学年ごとに数名選ばれた「学生教育委員 (PECS)」が正規委員や議決権を持たないオブザーバーとして参加し学生の立場から意見を述べています。会議における活躍の一例として、学部生が大学院生に気軽に勉強を訊けるコーナー「Café Quante」の企画立案が挙げられます。この企画は現在、教育委員会により運営され、学習相談の場となっています。その他にも学生にしかできない取り組みを実施しています。

学生が先生方とともに教育に関わるという意味で、学生教育委員会は他学科には無いもので、大学運営に関して非常に稀な制度です。



学生教育委員会のメンバー

活動内容

学生教育委員では、例年主に以下のような活動を行っています。各企画をより洗練し、学生の視点から教育をよりよくしていくことを目指すとともに、必要があれば新しい企画を立ち上げ、実行しています。

・分属相談会

入学して間もない理学部1年生に対して、毎年春学期に分属相談会を行っています。物理学の概要、学生生活、卒業後の進路について学生教育委員が紹介します。理学部1年生が分属、物理学について知る機会となっています。相談会の企画、当日の運営まですべて学生教育委員会で行っています。

・授業アンケート

主に2年、3年次に行われる必修科目を対象に、学生教育委員会でアンケートの作成、実施、集計を行っています。先生方へよりよいフィードバックを行うために、学生の視点から質問内容の改善、回答率の向上、先生方の知りたいことに応じて集計方法を変えたりと、学生にしかできない取り組みも実施しています。

・分属説明会

分属を控えた理学部1年生に対して、分属相談会より詳細な内容の説明会を毎年秋学期に実施しています。分属説明会では、先生方に研究の紹介をしていただいたり、実際に研究室訪問を実施したりしています。学生教育委員会では、このような企画から調整までを執り行っています。また、物理学紹介冊子「分属のすすめ」も作成し、説明会で配布をしています。

・研究室配属

毎年4年次に行われる研究室配属の調整を学生教育委員会の取り仕切りのもと行っています。研究室訪問の調整、2回の予備希望調査などのサポートを行ったうえで、実際に配属が決定する本調査における調整を行い、配属先を決めています。学生ならではの観点からスムーズな配属を実現しています。

・カフェオンテ

毎年、学部生が物理に関わる相談を気軽にできる場として、カフェオンテを実施しています。大学院生のTAの方にご協力いただき、授業の質問、進路相談などができる場所を作っています。利用人数を増やす工夫なども学生教育委員で議論をし、試行錯誤をしています。

・オープンキャンパス

毎年8月に行われるオープンキャンパスにおいて、高校生に向けて物理学や大学生活の紹介を行っています。講演やポスター発表などで高校生の疑問に答えています。